

日銀支店長が語る

# 経済よもやま話

## 第13回 東北の冬探訪



日本銀行仙台支店長 岡山 和裕

日本銀行の支店には、対外広報という仕事もある。日本銀行仙台支店の景気の見方を説明したり、日本銀行の政策や業務を説明したりするのだ。その方法は、毎月の記者会見だったり、私の講演だったりするが、それ以外では日本銀行仙台支店のホームページも重要なツールだと思っている。

この日本銀行仙台支店ホームページは、昨年9月にリニューアルして、スマホでも見やすくしたり、あとはページの階層を減らしたりしたが、さらに拘ったのは、トップ画面に東北地方の四季の写真を載せることだった。

しかも、四季毎に写真を入れ替えるようにしたのだ。というのも、皆さんにとっては少し堅いイメージがある日本銀行のホームページで、少しでも季節感を感じ取っていただければという趣旨だった。

で、今は春バージョンになっているのだが、冬バージョンの時には、5枚の写真のほとんどが「雪」の写真だったのだ。

そうすると、東北の「雪」を見に行きたくなった（笑）。

まずは、蔵王の樹氷を見に行きたくなった。山形に住んでいる知り合いに聞いたところ、「山の天気は変わりやすいので、あらかじめ日にちを決めずに、天気の良い日にパッと行った方が良いでしょう」とアドバイスしてもらった。

それから、事あるごとに天気予報のページをチェック。そして、2月上旬に天気の良い日を見つけて、見に行った。そうすると、蔵王の麓は晴れていたのだが、頂上はかなりの吹雪状態（笑）。今年は樹氷がなかなかできないと言われていたが、「スノー・モンスター」を見ることができたのだ。これまで見たことがなかったので、感動したし、自然の偉大さを感じた。吹雪に煽られながら（笑）。

これ以外では、雪の羽黒山五重塔も見に行っ

た。羽黒山五重塔は昨年から来年にかけて修復工事中なので、昨年夏に見に行った時には、修復工事のための覆いが掛かっていたのだ。でも、冬の間は、雪のためその覆いが外されると聞いて、見に行ったのだ。

そして、実際に行ってみると、道すがら何回か転びながらも（笑）到達したところ、杉並木の森林の中で、凜と立つ雪の五重塔に巡り合うことができたのだ。五重塔に近づくと、近くの杉に積もった雪がふんわりと落ちてきた。これまた、何とも水墨画のような世界だった。

ここまでが2月なのだが、今年は何と3月になっても雪が降っていたのだ。盛岡に行った時には、駅から出たところ、またまた吹雪いていた（笑）。盛岡冷麺は食べたことがあるのだが、ある有名なお店の冷麺を食べたことがないと、知り合いに言ったところ、「それじゃー、盛岡冷麺を食べたことになりませんよ」と言われたので、外はマイナスの気温の中で、その有名店の盛岡冷麺をいただいたが、とても美味しかった。

そして、近くの温泉に行ったところ、露天風呂からの雪見風呂。残っている雪を見ながら、露天風呂に入ったことはあるが、おそらく、降っている雪を見ながらは初めてだ。

それは、足元は暖かく頭は冷たい状態。正しく「頭寒足熱」。「頭寒足熱」は健康にも良いらしいが、頭もスッキリするらしい。

私の頭も少しはスッキリしたかな？

### 岡山 和裕氏 プロフィール

1969年（昭和44年）生まれ  
兵庫県出身。本店15部署のうち8部署を経験したオールラウンダー。東日本大震災では、金融機構局で被災金融機関との連携役を担ったほか、熊本地震では決済機構局業務継続企画課長として現場を指揮。前橋支店長、業務局参事役等を経て、仙台支店長に就任